

ADHD等 指導者養成講座

発達障害者支援法の改正を機に、昨年より、えじそんくらぶでは「ADHD指導者養成講座」を再開しました。一昨年度は未就学児から小学校ぐらいまで、昨年度は中学から高校卒業ぐらいまでの子どもへの支援について主に学びました。今回は、社会に出て自立しようとする青年期(概ね18歳から20歳代)の支援について考えていくことにしました。

その人らしさを活かす支援とは、まずは正しい情報や適切な方法を「知ること」から始まります。

受講生
募集中!

講座1 社会での自立に向けた学生支援のあり方

10月7日(日) 12:00~14:30

講師:末吉彩香先生
(株)Kaien ガクプロ担当

自立や就職に向けて発達障害がある学生は不安を抱えがちです。本講座ではKAIENで実施しているガクプロ(発達障害のある大学生支援プログラム)の活動を通して見えてきた現状と支援のツボについてお話しいただきます。

講座2 “性”の視点から考える 発達障害がある子の支援

10月7日(日) 15:00~17:30

講師:川上ちひろ先生(岐阜大学医学部
医学教育開発研究センター助教)

発達障害の特性がある子どもを“性”や“性教育”という視点で、どのような問題があり、どのような支援が必要なのかを一緒に考えたいと思います。

振り返りのグループワーク 17:30~18:30

講座3 感覚過敏の理解と支援(青年期編)

10月8日(月・祝) 10:00~12:30

講師:高橋智先生
(東京学芸大学教授)

発達障害がある人の生活上の様々な生活上の困難の背景に「感覚の問題(感覚過敏、感覚鈍麻)」が関わっていることが明らかになっています。前回に引き続き、この分野の第一人者である高橋先生に青年期の発達障害と感覚の問題についてお話しいただきます。

講座4 大学での発達障害のある学生の支援

10月8日(月・祝) 13:30~16:00

講師:秋元孝城先生
(明星大学発達支援研究センター 研究員)

明星大学では平成22年から取り組まれている発達障害またはその疑いのある学生を対象としたスキルトレーニングの技法を中心として、社会的自立を目指す学生支援プログラム(START)の取り組みから学生支援の現状と課題についてお話しいただきます。

振り返りのグループワーク 16:00~17:00

場所:国立オリンピック記念青少年センター(渋谷区代々木神園町 3-1)
小田急線参宮橋駅徒歩7分、東京メトロ千代田線代々木公園駅徒歩10分

対象:ADHDを中心とした発達障害を正しく理解し対応を学びたい支援者および保護者

定員:50名 託児:なし 持ち物:筆記用具・昼食

参加費(2日分):一般20,000円 準会員17,000円 正会員/学生10,000円
全課程修了者に「修了証」を発行します。

詳細・お申込:HPで申込みの後、一週間以内に参加費をお振込みください。

1日のみの参加も
ご相談ください